

データ利活用WG設置について



北海道Society5.0推進会議「データ利活用ワーキンググループ」

担当課：総合政策部次世代社会戦略局DX推進課

データ利活用

事業目的

「北海道Society5.0」の実現に向け、横断的視点である「データの利活用」と、それを支える「データ連携基盤」の在り方について協議・検討する。

背景・課題

デジタル社会の構築に向けてはデータの活用が必要不可欠であるが、取組が進んでいない状況であることから、有効に活用できる環境を構築するため、その基盤の在り方について整理が必要。

概要

- 国の動向や本道及び他地域でのデータ連携基盤の実装状況や、道内市町村や民間企業・団体における各分野の活用可能性を踏まえた、本道におけるデータ連携基盤の在り方に関する検討、実現に当たっての設計構想やロードマップ・課題の整理を行う。

先行自治体



都府県
(主なもの)

東京都、大阪府、長崎県、京都府、兵庫県、群馬県、愛媛県、長野県、富山県、山梨県、広島県、鳥取県、福島県、石川県、奈良県、大分県

道内
市町村

札幌市、更別村、江別市（群馬県前橋市との連携）

目指すべき姿

本道におけるデータ利活用の効果・必要性を明確化、データ連携基盤の在り方や地域実装に向けた道としての方向性を示す。